

ねむろ市議会だより



NEMURO CITY COUNCIL NEWS

発行／根室市議会

根室市常盤町2の27 根室市議会事務局
TEL(0153)23-6111 FAX(0153)24-5820

主な内容

- 6月定例会議会「一般質問概要」②
- 4月緊急議会・5月緊急議会・第2回5月緊急議会・6月定例会議会日程及び質疑内容等⑦
- 議会の活動⑧
- 各常任と特別委員会の活動報告⑨
- 根室市議会からのお知らせ・編集後記⑫

第33号

令和2年(2020年)
8月1日

温根元小学校校歌

作詞 原子 修
作曲 滝田 和人

一、海霧さむく 丘にみち
草葉ふるわし霧笛なる
東のはての 故郷よ
荒磯ひらいた父母の
くらしの力うけついで
温根元の子
根づよく豊かに育ちます

二、荒波わけて陽よのぼれ
丘吹く風に 花かおれ
二つの海の あうところ
幸をもとめて船出せん
はるかな千島のぞみつ
温根元の子
明るく元気にまなびます



「ねむろ市議会だより」では、前号から合併・統合等で閉校となった市内小学校の写真を市教育委員会の協力により掲載しています。

地元の方々や多くの市民の皆様にも長く親しまれ、惜しまれながら閉校した小学校の当時の様子を思い浮かべ、郷土を愛する気持ちをいつまでも持ち続けていただければ幸いです。

庁舎建設説明会に参加しました

6月30日に開催された新庁舎建設基本設計及び基本計画策定に向けた説明会に総務常任委員会と議会運営委員会が合同で参加し、受託事業者から他市町村の導入事例紹介や今後のスケジュールについて説明を受けました。



庁舎建設説明会

「一般質問」概要

6月定例会月議会では、8人が一般質問を行いました

※掲載している質疑の内容については、質問した議員自らがまとめたものであり、詳しい質疑内容は、9月下旬頃に市ホームページで確認いただけます。

一般質問

壺田 重夫 議員

根室市としての防災機能の在り方について

大震災の予感、コロナ対策など危機管理意識の重要性が増している中で現在の防災機能や改革策について下記の通り質問した。

問

総合防災訓練における市民の関心度を高める取り組みについて

答

今年の訓練が開催されない場合でもこの時期に合わせて市民の意識高揚に合わせた取り組みを進める。

問

防災と危機管理の知識の普及について

答

市民参加の現状からこのままでよいとは思わないので様々な啓発活動を通して100%の市民に危機管理意識を普及させるため福祉や保健などの多様なテーマを加え市民への浸透を図る。

問

沿岸・内陸を問わず危機管理意識の高揚を図らなければならない

答

自分の危機について想像する機会を行政が如何に提供できるかが大切。地域、町会への浸透に加え、イベントブースへの展開や事業所やサークルへの啓発にも取り組む。

問

防災の備えが有効なものになるようなノウハウづくりについて

答

地域防災計画に影響するコロナの防疫対策など新たな危機への対応能力が求められる。職員の研修などを通してスキルアップとノウハウ蓄積に努める。

問

自主防の活動について

答

広域化など、組織の在り方についてなど指導力をもって育成していく。

問

防災に係る全庁にわたるシステム造り

答

平常時から有機的に防災組織などと連携強化をはかる。

問

防災先進地を目指して危機管理室の創設の考えは

答

コロナを通して職員の総合力に助けられたり一堂に会さなくてもよいという学習もした。防災の先進地を目指せば、その視点にたって危機管理室の創設という提言だったが、そうした具体的な提言は大切な事なのでしっかりと検討していく。

一般質問

野潟 龍彦 議員

北方領土問題について

問

今年のこれからのビザなし・自由訪問・墓参事業等の実施が危ぶまれているが、今後の対応について伺う。

答

新型コロナウイルス感染症をめぐる状況の推移や実施関係団体からの情報収集等に努め、再開に向けた準備に万全を期してまいる。

問

今年の外交青書には「北方領土は我が国が主権を有する島々」との記述となり、昨年よりはましな表現と思われるが市長の見解を伺う。

答 政府の基本的立場は、「北方四島の帰属問題を解決して平和条約を締結する」であり、その立場に基づき外交交渉を後押しする、そのための返還要求運動に取り組んでまいる。

防災・減災対策について

問 コロナ禍において無症状者であっても感染の不安はあり、特に家族内に高齢者・子供・疾患等を持つ家庭環境は、居住スペースを分けて過ごすのも家の構造上難しい場合があり、支援策として待機所等の設置が必要と考えるが見解を伺う。

答 第一義的に感染者の対応を優先と捉え、感染の疑いという段階における避難施設の設置は難しいと判断しておりますが、市として市民の命と健康を守る事、また心の不安を取り除くことも大切な保健業務であり、市民に寄り添った丁寧な対応に努めてまいる。

問 巨大地震等に備え、高齢者や疾患のある方も含めた全体の避難所運営マニュアルはあるのか。また、ボランティア団体の受け入れ態勢が整っているのか伺う。

答 現在、運営マニュアルは策定作業の詰めの段階に入っている。また、ボランティア団体の受け入れ態勢は市と社会福祉協議会が連携し「根室市災害ボランティアセンター」を設置することで対応してまいる。

子供向け屋内遊戯施設について

問 建設工期と道の交付金等の活用について伺う。

答 工事予定は今年の12月から来年の12月の完成を目標としている。
北海道の交付金等の活用は秋頃を目途にお示したい。

一般質問

鈴木 一彦 議員

「根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画」について

問 根室市の「展開計画」フェーズ1が、感染拡大防止という点で一定の効果を発揮したものと評価する。その上で、市民一人当たり10万円の「特別定額給付金」について、4月27日という基準日以降に生まれた（生まれてくる）新生児も対象として拡大することについて、市長の見解を求める。

答 フェーズ1については、市民の命・生活を守る、産業・文化を守るという視点に立ち、市民が一日でも早くこれまでの生活を取り戻すため、外出自粛や営業自粛、医療従事者のご尽力をいただきながら取り組んできたところであり、一定の成果があったと実感している。特別定額給付金の対象拡大については、4月27日の基準日にこだわらない、年度内給付を想定した制度設計を指示しているところである。

「コロナ危機」のもとでの教育に関する諸課題——学校現場における感染拡大防止対策について

問 コロナ禍における学校現場での様々な対応、すなわち、予定外の長期休業明けという特別な状況のもとでの授業、子どもたちの健康管理や校舎・備品などの消毒作業等々は、教職員の多忙化にさらに輪をかけていると思わざるを得ない。マンパワー不足を解消するためにも、引き続き教職員の定数増を求めるとともに、消毒作業などについては、臨時の業務員等を雇用するなどして対応すべきと考えるが、教育長の見解を伺う。

答 【教育長】今回、国の2次補正予算において、教員が学びの保障に力をそそげるように支援するスタッフのための費用が措置されたことなどをふまえ、学校現場がサポートを求めると時間帯や時間数が限られているなどの課題も認

識しつつ、今後とも、校長会・教頭会や学校訪問を通じて、現場における教職員の業務が過剰となっていないか、きめ細かく配慮しながら適切な対応に努めていく。

一般質問

足立 計昌 議員

市立根室病院の経営状況について

問

院内の感染予防には、様々な対策を取られていると思うが、どのような取り組みをしているのか。また、こうした環境からの影響について伺う。

答

市立病院は、根室管内唯一の第二種感染症指定医療機関で、患者の受け入れには、道や関係機関と連携を取り様々な対策を講じている。院内の感染予防として、一般患者と空間的分離を行うため病棟のゾーニングや国から示されている標準予防策等に加え、飛沫・接触感染予防策を徹底している。外来受診者数は、2月以降、前年比1日当たり100人程度のマイナスが続いている。これは、外出自粛による受診控えによるものと思われるが、先行きが不透明なことから、今後も動向を注視してまいりたい。

GIGAスクール構想について

問

GIGAスクール構想※の前倒し実施により、どのような課題が生じ、課題に対してどのような対策を取られているのか伺う。

答

【教育長】教員、児童生徒への一人一台のタブレット端末の整備にあたり、小学校低学年の操作習得やセキュリティの確保、教員のICT活用能力の育成が課題と認識している。タブレット端末の機種選定には、根室市学力向上プロジェクト推進会議において、学力向上先進地石川県の実態などを参考にしながら、児童生徒の操作の習熟が容易で、セキュリティの堅牢さに定評のあるアップル社のiPadを選定したところであり、推進会議の本年度の活動として、教員のICT利用活用能力の育成に力を尽くしてまいりたい。

学校休校に伴う児童生徒への影響と学習指導等休校期間中の取り組みについて

問

長期の休校により児童生徒に、また、学力・教育課程にどのような影響が出ているのか伺う。

答

【教育長】長期の臨時休業は、子どもたちの学習・生活の状況や教育課程に大きな影響を与え家庭にも大きな負担と心配をおかけした。

今後は新型コロナウイルス対策と両立し、子どもたちの学習を保障していくことが重要な課題となっている。夏季・冬季休業を短縮し、夏は9日、冬は5日の授業日を確保し、児童生徒の学習進度の回復を図りたい。

一般質問

久保 浩昭 議員

旧逋信省千島回線陸揚げ庫について

問

今年3月の参議院外交防衛委員会の中で、我党の鈴木宗男代表と公明党の秋野公造議員に「千島回線陸揚げ庫」の文化財登録について議論をして頂いた。政府からは近く調査員を派遣するとの答弁を頂いたが、新型コロナウイルスの流行により話が進んでいないのが現状である。文化財登録について現状を伺う。

答

出来るだけ早い時期に調査を行って頂くよう要望しており、教育委員会と連携し、意見具申に必要な資料を整備し、文化財登録について国や道の指導を頂きながら取り組む。

問

文化財登録を行ったとしても、浸水や高波で崩壊の恐れもあり「保存」に適した環境ではない。保存には護岸整備も重要であり、周辺の嵩上げを含めた整備が必要であると考え。これらを文化庁へ要望していくことが必要であり、周辺の整備・保存について伺う。

※GIGAスクール構想：児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量のネットワークを一体的に整備し、全ての子どもたちに公正で個別最適化された創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想
GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略

答

当時の姿を残す数少ない貴重な構造物である。本施設が登録有形文化財に登録された場合、様々な優遇措置が期待されることから、登録に向けて取り組むとともに、施設の保存・整備に努めつつ、将来的な活用方法についても、専門家会議等の中で協議・検討していく。

問

「北方領土問題を認識している人の割合」が令和元年の段階で計画を下回っている。教育の分野で直接、北方領土に関する物が見当たらず、北方領土原点の地として、「千島回線陸揚げ庫」の北方領土学習への活用が北方領土問題の認識に有効であると考え、それについて伺う。

答

【教育長】「千島回線陸揚げ庫」は教材として現存する貴重な素材と考える。関係部局や校長会等とも協議し、その活用方法について検討する。また、これまで北海道博物館との連携により広く市民が学べる機会を設けており、学習機会の創出に努めると共に、関係機関や学校教育との連携も視野に入れながら、啓発事業のあり方についても検討していく。

一般質問**滑川 義幸 議員****新型コロナウイルス感染症対策について****問**

市中経済への影響把握と市中経済活性化のための取り組みについて

答

これまで根室商工会議所との連名による商工会議所会員への影響調査、市内四単協及び農協へのヒアリング調査を行い、また北海道の「緊急事態宣言」もあり、飲食、観光、小売業、生活関連サービス業等にも影響を与えている事は認識しており、今後は具体的に数値をもってその影響把握をし、対策を講じていきたい。

問

「新しい生活様式」への取り組みについて、今後市のイニシアチブ※の下、市民参加型の仕組みづくりを検討してみたい。

答

今後は「国、道」が定めた「新しい生活様式」をベースに根室市版の「新しい生活様式」を掲げ、広く啓蒙・啓発に努め、根室の（マチの）あり方を考える起点にし、取り組んでまいりたい。

新型コロナウイルス感染症対策に取り組むための行財政運営について**問**

令和2年度予定事業・施策の見直しと精査の必要性について、とりわけ新庁舎の整備計画についての今後の進め方と見通しについて

答

本年10月までに基本計画、来年2月までに基本設計を策定し、本年度中に実施設計に着手するための作業を進めている。

新型コロナウイルスの影響で遅れている自治体もあるようだが、根室市ではウェブ会議等を積極的に活用し、工夫をしながら議論を深めていく。何れにせよ今後も感染防止に配慮しながら、着実に計画を推進していきたい。

一般質問**千葉 智人 議員****プレミアム付き商品券について****問**

プレミアム付き商品券については消費喚起につながるが、これまでの傾向を見ても大型店中心に消費される傾向がある。当市においてもプレミアム付き商品券のほかに飲食店向け、公共交通機関向けと今回の新型コロナウイルスで特に大きな経済的打撃を受けた業種に絞った対策を講じている中で、あえてプレミアム付き振興券を導入する考え方について伺う。

答

根室商工会議所からプレミアム付き商品券の要望が寄せられ、市内消費喚起と地域経済の活性化に資することを目的とし発行に取り組むこととした。

低所得者向けの対策を

問 低所得者の皆さんにとってはプレミアム付き商品券の1万円の負担が厳しい方もいる。5千円2口での販売などの検討をしてはいかがか。

答 市と実施主体の根室商工会議所との協議の中で5千円とした場合の検討を幾度もさせて頂いたが、早期に市中にお金を循環させ消費喚起につなげたいこと、5千円にした場合、発行部数が増えることにより予定している販売時期に間に合わないことから、今回は1万円の販売になったところである。

市役所新庁舎には感染症対策を

問 現在検討されている新庁舎建替に新型コロナウイルスなどの感染症対策の検討はされているのか。されていないのであれば今後の基本計画、基本設計の中で検討すべきではないか。

答 来庁者や職員を感染症から守るためにも「人と人の距離の確保」や「換気対策」等、基本的な感染症対策について検討を進めていく考えである。

一般質問

小沼 ゆみ 議員

介護保険施設・市立根室病院にICTを活用したオンライン面会の導入を

問 市内の一部の介護保険施設では新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言解除後も家族による面会が出来ない状況が続いており、入所者やその家族は精神的不安、ストレスを感じている。市立根室病院においても2月から入院病棟で面会制限がされていることから、入院中の家族の心情に配慮し、また医療従事者への感染防止策として、ICTを活用したオンライン面会を導入してはどうか。

答

今年度、第8期介護保険事業計画の策定作業を進める中で、介護施設におけるICTを活用した施設運営等のニーズの把握に努めるとともに、感染症対策と面会を楽しみにしている入所者、その家族、遠隔地にお住まいの方々が安心感を得られること等も期待できることから、他市の実施状況等も参考にしながら支援策について検討を行っている。また、市立根室病院については、これまで院内システム委員会の中でWi-Fi環境に関する検討をしてきたが、病院内の医療機器への動作干渉やセキュリティの面から導入を見送った経過があり、今後ICTの活用については、医師及び医療スタッフの負担軽減や患者家族への配慮も踏まえ、病院内でその在り方について検討してまいる。

(仮称) ふるさと遊びの広場における障がい児にも配慮した遊具の検討を

問

(仮称) ふるさと遊びの広場は本年冬に着工される予定と伺っているが、すでに大型遊具の選定、導入は確定されており、それらの遊具については安全面を考えると障がい児が一人で利用するのは難しい。よって今後小型遊具の選定については、障がいのある子もそうでない子も一緒に遊べる施設、誰もが楽しむことが出来る遊具の選定・設置をお願いしたいと考えるが。

答

施設整備の基本方針において、各年代の子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインによる空間づくりを行うこととし、大型遊具はネット遊具など四つの遊具の設置を決定したところであり、小型遊具についても、障がいのある子もそうでない子も安心して遊べる空間となるよう、しっかりと選定を行っている。

4月緊急議会、5月緊急議会、第2回5月緊急議会、6月定例会議の会議日程及び質疑内容等

4月緊急議会

議会期間 令和2年4月22日(水)《1日間》

○議題

議案	人 事	根室市公平委員会委員の選任について	【全会一致で可決】
	条 例 等	根室市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
		根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
		根室市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	
		根室市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	
	予算関係	令和2年度根室市一般会計補正予算(第1号)	
報告	条 例 等	専決処分の報告について(根室市税条例等の一部を改正する条例)	

5月緊急議会

議会期間 令和2年5月1日(金)《1日間》

○議題

議案	条 例 等	根室市特別職の職員の給与の特例に関する条例	【全会一致で可決】
		根室市議会議員の議員報酬の特例に関する条例	
	予算関係	令和2年度根室市一般会計補正予算(第2号)	

第2回5月緊急議会

議会期間 令和2年5月14日(木)《1日間》

○議題

議案	予算関係	令和2年度根室市一般会計補正予算(第3号)	【全会一致で可決】
----	------	-----------------------	-----------

6月定例会議

議会期間 令和2年6月16日(火)～6月19日(金)《4日間》

■6月定例会議において全会一致で可決された議案、意見書等

議件名・意見書			
議案	人 事	根室市農業委員会委員の任命について	
	条 例 ほか	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
		根室市税条例の一部を改正する条例	
		根室市ふるさと応援寄付条例の一部を改正する条例	
		根室市こども医療費給付金条例の一部を改正する条例	
		根室市公社営畜産基地建設事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	
		財産の取得について	
		デジタル防災行政無線整備工事(その1)請負契約の締結について	
	予算関係	令和2年度根室市一般会計補正予算(第4号)	
報告	予算関係	令和元年度根室市一般会計繰越明許費繰越計算書について	
		専決処分の報告について(令和元年度一般会計補正予算(専決第1号))	
	そ の 他	根室市土地開発公社の経営状況報告について	
議案	意見書案	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	
		安全・安心の医療・介護・福祉を存続していくために新型コロナウイルスの影響を受けた医療機関や介護・福祉事業所等へ公的支援の拡充を求める意見書	

6月定例月議会において賛成多数で可決された議案、意見書等

〔○：賛成、×：反対、－：欠席(退席)〕

議 件 名 ・ 意 見 書			創新	市政	大地	共産	千葉	久保田	壺田	副議長
議案	意見書案	地方財政の充実・強化を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○
		自家増殖を原則禁止とする「種苗法改正案」の取り下げを求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○
		「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書	×	○	○	○	○	○	×	○
		2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	×	○	○	○	○	○	×	○
		介護保険の利用者負担額引き上げ中止を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○

【主な議案・質疑の内容】

●総務常任委員会（審査件数 5 件）

「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」

- ・今回のデジタル手続法の改正概要とそれを踏まえた今後の行政デジタル化の取り組みについて

「根室市ふるさと応援寄付条例の一部を改正する条例」

- ・ふるさと納税関連基金全体の今後の運用、管理方向等について

●文教厚生常任委員会（審査件数：1 件）

「根室市こども医療費給付金条例の一部を改正する条例」

- ・条例改正の目的について
- ・近隣都市におけるこども医療費給付金制度の拡充等の状況について

●産業経済常任委員会（審査件数：1 件）

「根室市公社営畜産基地建設事業分担金徴収条例の一部を改正する条例」

- ・特になし

◆予算審査特別委員会

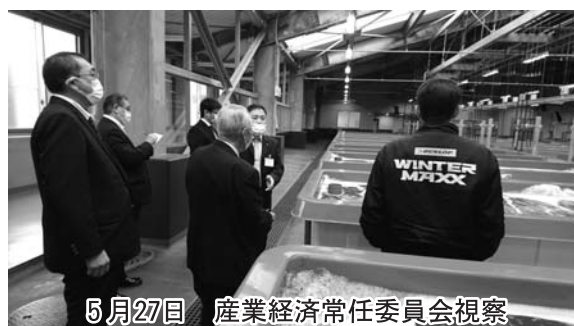
【令和2年度根室市一般会計補正予算（第4号）】

- ・新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画による経済波及効果及び目標値設定への取り組みと今後のマネジメント等について
- ・市内消費喚起組事業者応援助成金の趣旨と具体的な取り組みイメージ及びPR、周知方法等について
- ・GIGAスクール構想による地元への波及効果等について

議会の活動

【産業経済常任委員会】根室市栽培漁業研究センターを視察しました

「北方四島における共同経済活動」の初の活動拠点として、3月24日に竣工した海産物増養殖の中核施設「根室市栽培漁業研究センター」を産業経済常任委員会（委員長 波多 雄志）が視察し、施設の整備状況や設備の概要等について説明を受けました。



5月27日 産業経済常任委員会視察

令和元年度の 各常任委員会 と特別委員会 の活動概要

例年5月に実施している議会報告会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、今年度は開催を見合わせております。代わって昨年度の各委員会の活動を、紙面上でご報告いたします。(また年度の途中で委員会の変更がありますので、あわせてご報告いたします。)

なお各委員会の報告書は根室市議会のウェブサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。



	総務常任委員会	文教、厚生 常任委員会	産業経済 常任委員会	北方領土対策 特別委員会	水産対策 特別委員会	議員定数等に関する 調査検討特別委員会
平成29年 9月27日 ～ 令和元年 9月30日	◎壺田 重夫 ○橋本 竜一 遠藤 輝宣 田塚不二男 滑川 義幸 工藤 勝代	◎鈴木 一彦 ○小沼 ゆみ 野潟 龍彦 久保 浩昭 保坂いづみ (～H30.8.31) 本田 俊治	◎千葉 智人 (～R1.7.12) ◎波多 雄志 (R1.7.12～) ○久保田 陽 足立 計昌 五十嵐 寛 富川 歩	◎田塚不二男 ○千葉 智人 (～R1.7.12) ○工藤 勝代 (R1.7.12～) 鈴木 一彦 久保 浩昭 遠藤 輝宣 野潟 龍彦 五十嵐 寛 保坂いづみ (～H30.8.31)	◎波多 雄志 ○足立 計昌 本田 俊治 滑川 義幸 橋本 竜一 富川 歩 小沼 ゆみ 久保田 陽 壺田 重夫	H30年3月30日～ ◎滑川 義幸 ○千葉 智人 (～R1.7.12) ○小沼 ゆみ (R1.7.12～) 鈴木 一彦 富川 歩 遠藤 輝宣 田塚不二男 保坂いづみ (～H30.8.31) 壺田 重夫
令和元年 9月30日 ～ 現在	◎五十嵐 寛 ○鈴木 一彦 小沼 ゆみ 富川 歩 壺田 重夫 本田 俊治	◎工藤 勝代 ○久保田 陽 橋本 竜一 久保 浩昭 田塚不二男 滑川 義幸	◎波多 雄志 ○足立 計昌 遠藤 輝宣 野潟 龍彦 千葉 智人	北方領土・水産対策特別委員会 ◎田塚不二男 ○波多 雄志 橋本 竜一、久保 浩昭 遠藤 輝宣、足立 計昌 滑川 義幸、工藤 勝代 久保田 陽		

総務常任委員会

女性消防職員の専用施設・消防車両の視察と消防力の現状や災害時の初動対応についての研修

新たに配備された消防車「根室水槽4」と消防庁舎内に新設された女性消防職員専用施設を視察しました。

併せて消防本部で、消防車両・人員体制等の現状や災害発生時に消防本部が具体的にどのような初動対応を行うのかについて説明を受け、意見交換しました。(H31年4月17日)



「(仮称)ふるさと遊びの広場」について意見交換

子ども向け屋内遊戯施設の設置場所等を定める基本計画(案)の内容について、説明を受けました。特に運動公園が津波浸水予測の区域にあるため、設置場所の選定の経緯や避難などの対策について意見交換を行いました。(R1年8月30日)

「根室市役所庁舎建替基本構想(素案)」等について協議・意見交換

建て替えが計画されている市役所本庁舎の基本構想について説明を受けました。

検討委員会とあわせてより多くの市民意見を取り入れるべきという意見や、現地建て替えとなった経緯や駐車場の確保、将来的な人口減少の中で庁舎の規模をどう考えるか等の質問が交わされました。(R2年1月23日)

根室市役所庁舎建替基本構想(案)について、3月13日に総務常任委員会としての参考意見を取りまとめ、市側に提出しています。

※なお新庁舎建設に関して、本会議場などの議会機能の部分については、議会運営委員会において協議検討しています。

文教、厚生常任委員会

帯広市「市民活動プラザ六中」の視察

中学校舎跡を活用して障がい者就労支援や地域コミュニティ活動拠点、地域防災拠点となる施設を設置しており、当市における廃校の跡利用として参考とすべき内容でした。

(R1年8月23日)

各小中学校施設の現状と課題の把握

当面統合を予定していない各小中学校の現状の設備や施設について、学校からの要望をもとに課題把握と現状の説明を受け、どの校舎も築年数が長く、今後の計画的な修繕に向けて予算措置の必要性、児童・生徒の安全配慮の重要性を確認し、新年度対応に向けて要望等を進めることとしました。

(R2年1月31日)



中標津町立計根別学園の視察

平成28年に義務教育学校としてスタートした計根別学園における、1つの校舎で9年生という流れの効果、課題、また平成29年からスタートしている学校運営協議会について学びました。制度的に教職員定数が充実するうえ教科担任制による働き方改革も実現できるなど、令和2年度に「歯舞学園」が開設することもあり、今後の参考となりました。

(R2年2月20日)



別海町学校給食センターの視察

令和2年度運用開始。食品搬入、調理、洗浄まで直線の動線で運用できるよう規定に沿っており、3カ所の区画ごとに出入りするが、区画移動には厳しい衛生管理の仕組みとなっています。アレルギー食材の除去食は50食程度必要で調理人が施設環境に慣れしだい主に1人での調理を予定。このような施設であっても地元産の食材をそのまま給食に使うのは非常に厳しいとのこともありました。

(R2年2月20日)



産業経済常任委員会

千葉県大多喜町「沿線存続運動」について視察

花咲線廃止の危機にある根室市。地域住民の足を守るために地域が様々なアイディアで利用者増を目指し活動をしているいすみ鉄道の取り組みについて調査しました。

様々な企画により地域はもちろん全国に応援団を獲得していました。

(R1年5月21日)



千葉県南房総市「観光振興ビジョン」について視察

根室市でも策定中であった観光振興ビジョンの策定状況等について説明を受け、特に観光DMOの導入について、観光協会がDMO化することによる市役所担当課との連携について調査しました。

(R1年5月20日)

大阪府枚方市「行政ポイント」の視察

根室ポイントカード導入に伴って先進地である枚方市を調査しました。様々なメニューの行政ポイントの付与があり、今後の事業展開においての参考となりました。

(R1年5月22日)

E44根室道路(穂香～温根沼)工事の進捗状況について視察

釧路開発建設部根室道路事務所にて、令和元年度内に完成予定の根室道路の概要説明を受けた後、現場を視察しました。

この道路の整備により、交通事故低減及び冬期間の地吹雪等による冬期交通障害の解消により、速達性及び安全性の高い輸送ルートが確保され、水産物の流通利便性向上、救急搬送や血液搬送の安全性向上が期待されます。(R1年11月27日)

北方領土・水産対策 特別委員会

「丸山穂高衆議院議員の言動に対する
 厳重抗議と国としての今後の対応
 及び一刻も早い北方領土問題の平和
 的解決を求める決議」に係る抗議と
 要請活動を実施

要望先：大島理森衆議院議長、宮腰光寛内閣府
 特命大臣、高市早苗衆議院議運委員長ほか

(R1年5月31日)



北海道議会北方領土対策特別委員会 との意見交換会

隣接地域の振興を図る上での現状と課題について
 意見交換を行いました。(R1年8月26日)

北方領土返還要求中央アピール行進

本年度で13回目となるアピール行進に委員8名
 が参加。全体で議員16名が参加。

(R1年12月1日)



参議院沖縄及び北方問題に関する特別 委員会と行政関係等との要望・懇談会

関係団体から、返還要求運動は二世、三世が中心
 になりつつあり若年層への啓発により注力すべきこと、
 北隣協と北方四島との新たな地域間交流の推進や、
 返還実現のためにも隣接地域が魅力ある地域であり
 続ける必要性、隣接地域への振興施策は地域経済への
 投資の起爆剤となり得ること、北方基金の枯渇への懸念、
 旧漁業権について沖縄とは異なり補償が行われなかった
 こと等々の意見が出されました。(R2年2月17日)

議員定数等に関する 調査検討特別委員会

本特別委員会は、平成30年3月定例月議会において
 設置しました。現行の議員定数は18名(現在1名欠員
 で17名)ですが、人口減少が進む中で、これからの当
 市の振興のために社会情勢の変化や議会の果たすべ
 き役割などを踏まえ、その体制がどうあるべきかにつ
 いて議員定数も含め総合的に調査・検討することを目
 的としています。

本特別委員会では、これまで道内外34自治体へ「議
 会活動の実態調査」を実施したほか、市民に開かれた
 議会、二代表制の一翼を担う議会として、より一層の
 機能充実、市民皆様と一体となった議会を目指す方
 向性を確認しつつ、議員間討議等により調査・検討を
 進めました。

令和元年度以降は、これまで13回にわたり委

員協議会等を開催し、「あるべき議員定数」の議論の
 前提となる、常任委員会や特別委員会の体制、会派
 制の課題と今後のあり方、また、議員のなり手問題
 など10の検討項目について、それぞれ現状を踏まえ
 た検証と今後の方向性について確認・検討を行ない、
 本年3月には一定の方向性を中間報告として取りま
 とめたところです。

議員定数について、現時点では「現状維持」と「削
 減」双方の意見があり、また削減についても1名減の
 ほか2名減、さらには4名減とすべきなど意見の一
 致には至っていない状況にあります。

また「常任委員会、特別委員会のあり方や体制」につ
 いても一定の検討を進めてきましたが、議員定数との
 一体的な検討が不可欠なことから、議員定数ととも
 に引き続き検討していくこととしています。

根室市議会からのお知らせ

●今後の議会開催(予定)

▶ 9月開会議会：9月7日、9月定例月議会：9月15日～

※日程等の詳細は、議会運営委員会において決定後、市のホームページでお知らせいたします。

●本会議・委員会の傍聴について

議会の本会議や各委員会は傍聴することができますので、ぜひお気軽にお越しください。

＝ 根室市議会は市役所3階です ＝

●市議会ホームページとフェイスブックページのご案内

根室市議会は「市民に開かれた議会」を目指す議会改革の取り組みとして、市議会ホームページ、フェイスブックページを開設し、市議会のさまざまな活動などを積極的に発信してまいりますのでぜひご覧ください。



■ホームページ



■フェイスブックページ

■市議会ホームページ

根室市議会

検索

■フェイスブックページ <https://www.facebook.com/nemuro.shigikai>

編集後記

今、コロナ禍の中、つらい事や思いも寄らない経験を繰り返す事態となっています。アフターコロナも何年先になるのかが心配な中ではありますが、諦めず新しい挑戦やアイデアが次々と生まれています。「成し遂げたい」「必ず生き残る」という情熱で動く皆さまの行動に尊敬の気持ちが湧きます。

私たちの生き方は新型コロナウイルスがなかった頃とは違うものに変化しつつあります。直接会わずともインターネットを使った会議が可能になり、都会では満員電車で通勤せずに家で仕

事が可能になり、東京や札幌など進学先の大学の講義が根室市の実家にてウェブ受講することになる。飲食店は次々と持ち帰りやデリバリーを始めて、お店の味が家で楽しめる。国も、根室市もこういった場面に合わせて、様々な支援を打ち出しました。コロナ禍を生き抜く知恵は市民の皆様の声があってこそ。「市議会だより」も市民の皆様の声を受け、わかりやすく伝える紙面を目指してまいりますので、これからもよろしく申し上げます。ぜひ、ご意見をお寄せください。

広報委員会副委員長 工 藤 勝 代